

◆落ち葉や雑草といっしょに「コンポスター」

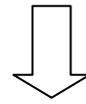
【特徴】

大量の落ち葉や雑草と一緒に生ごみを入れ、半年から1年かけてじっくり堆肥を作ります。容量が大きく、生ごみが多く出る家庭にも向いています。虫や臭いの予防にはナフタリンなどの防虫剤が使えます。



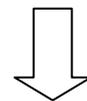
1. 使用開始前・設置イメージ

- 日当たりのよい場所に置くのがおすすめです。土の上に置くだけでもよいのですが、土の表面をほぐし30センチ程度穴を掘った上に置くと容量が増します。
- できた堆肥を取り出す場合はコンポスターの引き抜きが必要です。コンポスターを移設したうえで未熟な堆肥は戻し入れ、下部の完熟した部分のみを利用します。



2. 使用中の様子

- 生ごみと落ち葉・抜いた草（なければ庭土）を交互に入れていきます。生ごみのみを入れていると虫が発生し、うまく堆肥ができないので、必ず葉や土を入れるようにしてください。



3. 発酵をすすめるコツ

- 左の写真のように生ごみが上にあると虫がわきやすくなります。臭いが出ないように上から土や葉をかけてください。
- 時々シャベルで上下を入れ替えるようにかきまぜ、空気を入れると発酵が進んでよい堆肥になります。